

安心安全を「当たり前」に提供したい。

この特集では、上伊那地域で働き、暮らす人々に焦点を当て、そこから上伊那地域の魅力を読者の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。この地域にはどのような働き方、どのような暮らし方があるのでしょうか。

第4回の上伊那の仕事と暮らしにご登場いただくのは三洋グラビア株式会社です。三洋グラビア株式会社では主に食品包装の企画、製造を行っています。身近なあの商品も実は三洋グラビア株式会社のパッケージかもしれません。まずは経営企画室課長の根橋さんにお話を伺いました。

【経営企画室】根橋さん



「弊社では包装容器に入れる食品によって、最適なフィルムの素材や厚さを選定し、お客様まで安心安全な商品が届くように設計することを第一に考えています。生産現場では食品に関わることで、徹底した衛生管理が必要です。」と熱く語ってくださったのは経営企画室課長の根橋さん。

パッケージに選定するフィルムは薄すぎても機械に巻き込まれて扱いにくく、厚すぎてもコスト増となり、商品に合わせた絶妙な素材や厚さの選定が必要になります。

また、SDGsの観点で酸素を通さないフィルムの活用により、袋内の食品の賞味期限を延ばし、食品ロスの削減や災害時の防災食にも役立っているそうです。

「現在、多くの製造業では機械化が進んでいますが、人にしかできない緻密な設計、細やかな機械調整や安心安全のための丁寧な品質管理には、これからも力を入れて取り組んでいきたいです。」と話してくれました。

三洋グラビアが製造したパッケージ!!



四季の移り変わりが美しい上伊那。

経理部所属の松下さんは県外の大学に進学しましたが、都市部で生活するイメージがつかめず、卒業後は家族の近くで暮らしたいと考え、上伊那地域で就職することを決めました。

現在は経理部で出入金に関わる業務や月次決算の分析などを主に担当し、「未経験でも部署の先輩に丁寧に教えてもらえます。また、数字を見ていると色んな情報が読み取れて面白いんです。」と語る松下さんです。

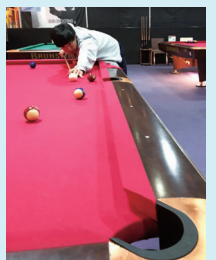
上伊那地域の良いところ教えて欲しいという質問に対しては「車通勤をする通勤路だけでも四季の移り変わりを感じることができるのはこの地域の魅力だと思います。春は桜、秋は紅葉といったように一年中季節を感じながら楽しめます。」

看板だけ知っていた企業が実は...

「看板を見かけたことがあり、会社名は知っていたんですが、初めは何を製造している会社なのか知らなかったんです。地元の説明会をきっかけに業務の内容を知り、自分の大学の専攻も生かせるし、新しいことに挑戦している面白い会社だと感じました。」と笑顔で話すのは経営企画室の村上さんです。

もともと人混みが苦手な都市部の生活をしたくなかった村上さんは県内の大学に進学しました。就職活動も実家から通える範囲で行い、入社を決めました。今年からは品質管理の職務を兼務し、仕上がった製品の検査

【入社2年目】村上さん



村上さん。品質管理を通じて、今後も私たちに安心安全な商品をお届けしてくれるでしょう。



と答えてくれました。

休日には愛犬と一緒に遊んだり、散歩に出掛けたりして癒されているそうです。

「今後はさらに経費の分析を行い、各部署が適切に経費を使えるように現状のフィードバックを行ってまいります。」と笑顔で意気込みを話してくれました。



【入社6年目】松下さん



■三洋グラビア株式会社の取材を終えて

普段わたしたちが何気なく手取る商品はパッケージによって、香りや色、おいしさを保っており、それは製造現場の方の日々の探求やノウハウによって守られているのだと感じました。また、フィルムの厚さや素材のわずかな違いにより、完成する商品の袋の開けやすさやデザインの発色に大きく影響することが分かり、お客様の要望に基づいてイメージ通りの製造ができるものづくりの現場はまさに職人技だと思いました。



暮らす・働く
応援サイト
Kamiina Life
公式HPはこちら

